



平成 24 年度 <年間>

(2012.4 – 2013.3)

ディスクロージャー誌

韓国外換銀行

在日支店



本ディスクロージャー誌は、銀行法第 21 条ならびに銀行法施行規則第 19 条の 2（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）に基づき、在日支店ならびに当行全体の業務および財産の状況等について作成したもので、同規則第 19 条の 4 に定める期限である平成 25 年 9 月 30 日までに営業所に備置しました。

目 次

1. 在日代表のごあいさつ
2. 在日支店に係る事項
 - 1) 韓国外換銀行在日支店の概要
 - イ. 韓国外換銀行在日支店の代表者の氏名及び役職
 - ロ. 在日支店の概要
 - ハ. 大株主の状況
 - 2) 韓国外換銀行在日支店の営業の概況
 - イ. 本邦における営業店舗
 - ロ. 組織図および業務内容
 - ハ. 在日支店の活動現況
 - 3) 在日支店貸借対照表及び損益計算書
3. 外国銀行(本社)に係る事項
 - 1) 本店の経営方針（銀行長からの便り）
 - 2) 当行のあゆみ
 - 3) 全社連結貸借対照表及び損益計算書
 - 4) KEB Operating Results for 2012（英語版）



1. 在日代表のごあいさつ

平素より、私ども韓国外換銀行在日支店をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

私ども韓国外換銀行は1967年1月30日に設立され、現在までの46年間、お客様に様々な金融サービスを提供して参りました。この間、様々な金融環境の変化による紆余曲折にも、変わらぬ営業を続けられますのも、お客様をはじめとして、お取引様の多大なるご支援の賜物と考え、今後も「お客様第一主義」を営業の基本とし、私どもの強みである豊富な海外ネットワーク（世界21カ国、31拠点〈現法12、支店13、事務所6〉）を最大限に活用し、外国為替業務を中心に質の高い商品やサービスのご提供に取り組んで参ります。

在日支店は、2010年1月金融庁から行政処分を受け、その間、在日支店の経営管理（ガバナンス）態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等のため、業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んできた結果、2012年7月をもって改善命令は解除されました。当行は今回の改善命令解除を再出発の基点として、より一層お客様のニーズにお応えすべく、日本における顧客サポート体制を整備すると同時に職員の意識を改革して「お客様とともに歩む外換銀行」としてお客様の利便性の向上と更なるサービス向上を目指して、邁進していく所存でございます。

当行は2012年2月にハナ金融グループの傘下に入り、新しいガバナンス体制の下で再出発することになりました。過去の古い経営気質を脱ぎ捨て、めまぐるしく変化を繰り返す金融環境に即応できるような柔軟かつ大胆な経営スタイルに生まれ変わり、今の厳しい金融情勢をお客様と共に乗り越えて行けるように最善を尽くす所存でございます。当行では、2013年10月に福岡出張所を開店する予定であります。在日拠点の裾野を広げることで、お客様により一層の充実した金融サービスを提供できるように最大限に努力したいと考えております。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2013年3月
韓国外換銀行
日本における代表者 尹 健人





2. 在日支店に係る事項

1) 韓国外換銀行 在日支店の概要

イ. 韓国外換銀行 在日支店の代表者の氏名及び役職

韓国外換銀行

日本における代表者 尹 健人 (Yoon Keun In)

ロ. 在日支店の概要

営業開始日	1967 年 1 月 30 日 (東京支店、大阪支店)			
主要業務内容	当行は 1967. 1. 30 韓国外換銀行法制定と同時に韓国銀行外国為替部から独立し、設立、同年在日支店(東京・大阪)営業開始、1981. 12 福岡支店設置(1999. 9 閉鎖)、1989 年韓国外換銀行法が廃止され、民間銀行となる。設立当初より韓国系商社の日本人、在日韓国系企業および在日韓国人を主要顧客として、貸付、預金、外国送金および貿易金融など広範囲な金融サービスを提供。2013 年 3 月末決算では経常利益は 365 百万円、特別利益は 5 百万円、特別損失は 2 百万円、繰越利益剰余金は 934 百万円、当期利益は 307 百万円となった。			
主 要 計 数 (百万円) 在日支店分		平成 23 年 3 月末	平成 24 年 3 月末	平成 25 年 3 月末
	総 資 産	93,341	121,829	105,994
	貸 出 金	58,852	56,160	53,582
	預 金	53,465	62,708	59,430
	経常利益	544	2,565	365
	当期利益	1,958	934	307
	従業員数	53 人	54 人	57 人
認可等案件実績	1967. 1. 26 銀行業免許取得および外国為替業務認可取得、1989. 6. 28 金融先物取引業許可取得、2000. 6. 30 金融先物取引業廃業、2006. 6. 29 新宿出張所開設認可取得、2007. 9. 30 登録金融機関第 69 号			



ハ. 大株主の状況 (2013年3月末現在)

順位	株主名	保有株式	
1	ハナ金融持株 (注)	386,952,719	60.00%
2	韓国銀行	39,500,000	6.12%
3	イルソン新薬	12,022,380	1.86%
4	THE GOVERNMENT OF SINGAPORE	8,249,660	1.28%
5	国民年金	8,040,677	1.25%
6	GMO EMERGING MARKETS FUND	5,131,833	0.80%
7	VANGUARD EMERGING MARKETS STOCK INDEX FUND	5,072,060	0.79%
8	DIMENSIONAL EMERGING MARKETS VALUE FUND	4,108,346	0.64%
9	農協銀行(固有)	3,300,000	0.51%
10	STICHTING DEPOSITARY APG EMERGING MARKET	3,160,840	0.49%
11	PICTET GLOBAL SELECTION FUND-GLOBAL HIGH	2,994,970	0.46%
12	MONETARY AUTHORITY OF SINGAPORE	2,885,238	0.45%
13	ABUDHABI INVESTMENT AUTHORITY LENDING	2,637,254	0.41%
14	ISHARESMSCI EMERGING MARKETS INDEX FUND	2,504,380	0.39%
15	ウリィ銀行(株式デリバティブ商品)	2,249,171	0.35%
16	NORGES BANK	2,223,094	0.34%
17	BLACKROCK INSTITUTIONAL TRUST COMPANY, N	2,136,622	0.33%
18	SAUDI ARABIAN MONETARY AGENCY	2,025,442	0.31%
19	FRANKLIN MUTUAL SERIES FUNDS-MUTUAL BE	1,964,064	0.30%
20	香港上海銀行 [SamsungKODEX200-ETF]	1,897,652	0.29%

※ 1. 発行株式総数 644,906,826 株

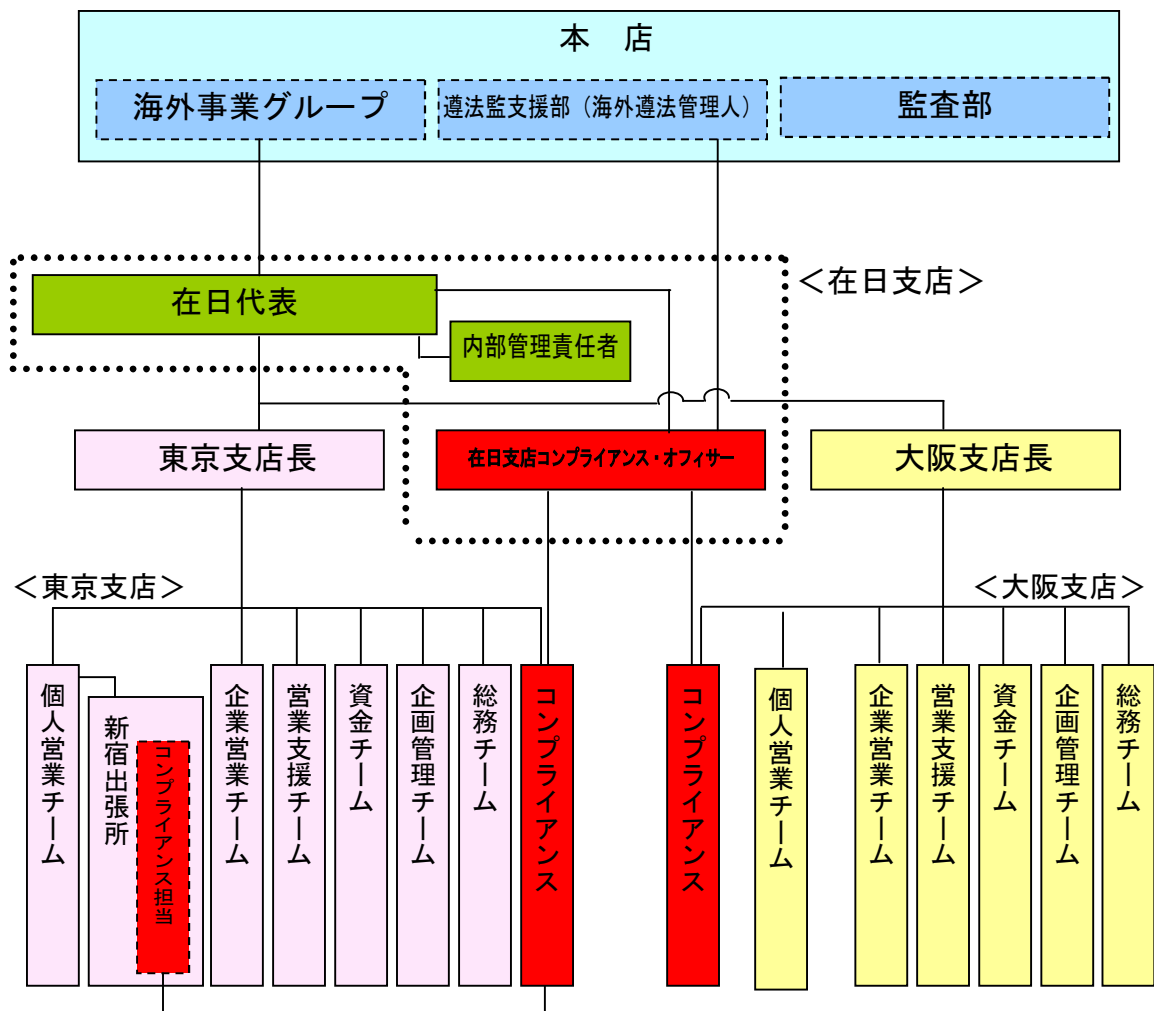
(注) 2013年4月 ハナ金融持株の持分は100%

2). 韓国外換銀行在日支店の営業の概況

イ. 本邦における営業店舗

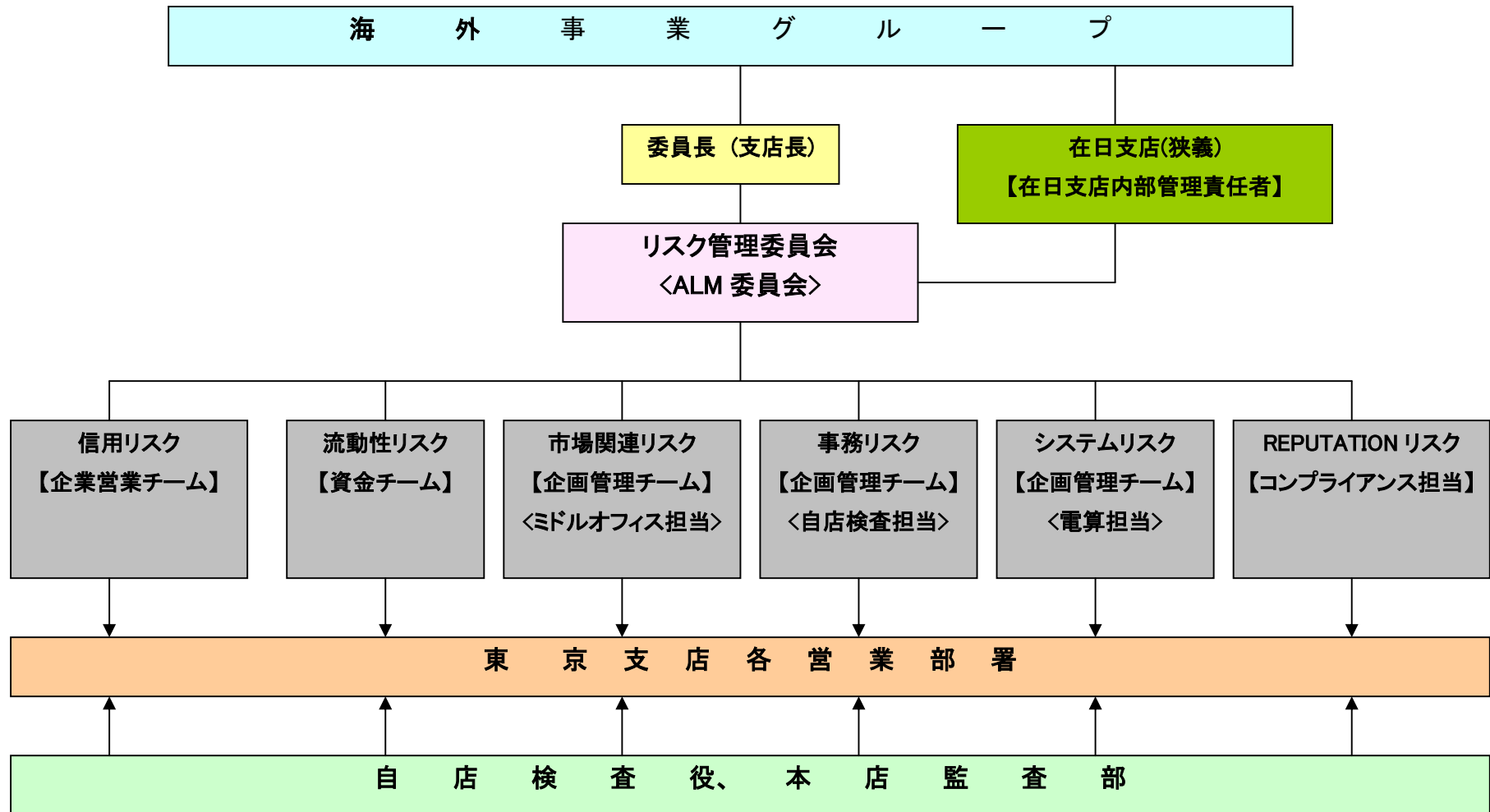
(支店名)	(所在地)	(支店長)
東京支店	東京都千代田区丸の内3丁目4番1号	宋 永鎮
大阪支店	大阪府大阪市中心区今橋4丁目1番1号	金 奎成
新宿出張所	東京都新宿区百人町1丁目1番2号	原田 清志

ロ. 組織図および業務内容 (2013 年 3 月末現在)



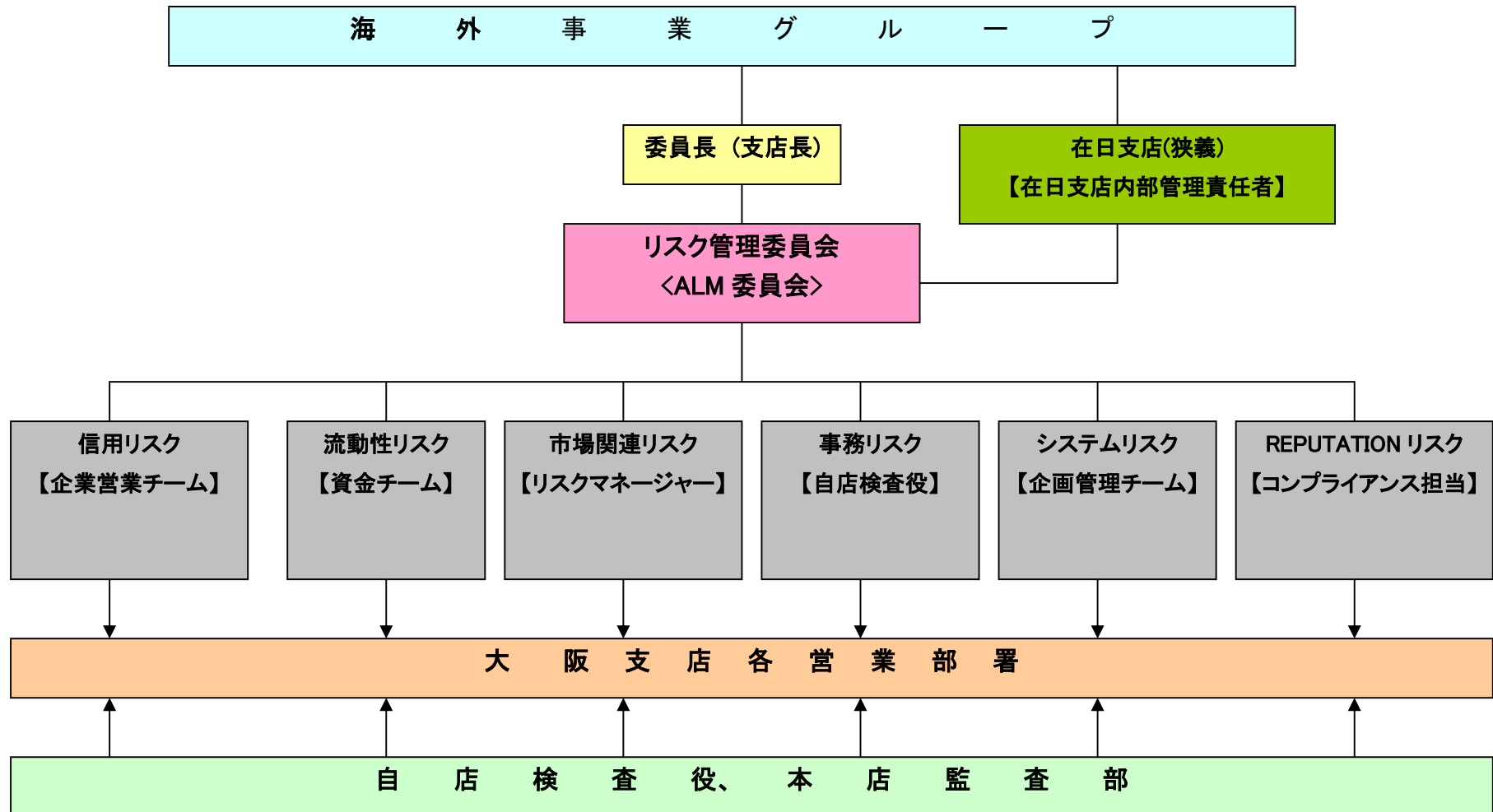


(総合リスク管理組織体制 <東京支店>)





(総合リスク管理組織体制 <大阪支店>)





(在日支店合同によるリスク管理委員会の開催)

(1) 在日支店で共通のリスク管理に係る事項を審議するため、半期1回東京／大阪支店合同によるリスク管理委員会を開催。

(2) 合同リスク管理委員会の構成

構成	担当
委員長	在日代表
幹事	内部管理責任者
委員	各支店長 各支店のリスク管理者 各支店の信用リスクおよび信用集中リスク管理責任者 各支店の流動性リスク管理責任者 各支店の市場リスク管理責任者 各支店のオペレーションリスク(事務リスク)管理責任者 各支店のオペレーションリスク(システムリスク)管理責任者 各支店のリпутेशनリスク管理責任者
参考人	在日支店のコンプライアンス・オフィサー 委員長が参考人として認めた者

〈業務内容(東京・大阪支店)〉

業 務 名	業 務 の 内 容
預金業務	普通(円貨・外貨)、当座(円貨・外貨)、定期(円貨・外貨)預金の受入、外貨両替業務、国内送金業務
送金業務	海外仕向・被仕向送金の取扱、取立業務、海外送金カードサービス
輸出入業務	輸出書類の買取業務、信用状通知業務、信用状の発行等
融資業務	融資業務(割引手形、手形貸出、証書貸出)、シンジケートローン等
資金業務	資金業務、対顧客先物為替取引、国内外本支店間の資金取引、有価証券投資
資金決済業務	本支店資金受払業務、資金取引バックオフィス業務、
経営管理業務	自店検査、決算業務、本店および当局向各種報告
企画調査業務	リスク管理業務、経営計画・各種企画調査業務
総務業務	一般総務業務
電算業務	銀行電算システム管理業務
コンプライアンス	法令等遵守、マネー・ローンダリング防止等関連業務



ハ. 在日支店の活動現況

経営現況

当行は、韓国最大の外為銀行としての特色を最大限に生かし、送金および貿易金融等でお客様に各種のサービス提供しております。また遠隔地にお住まいのお客様のためにインターネットバンキング、窓口の強化として新宿出張所開設等を行い、簡便な海外送金サービス等を提供できるようにキャッシュカード発行サービスを開始し、三井住友銀行（同行 ATM は各支店および@bank：コンビニエンスストア内に所在）、セブン銀行に続いて、2010 年 12 月からはイオン銀行とも提携開始し、お客様の利便性を高めてまいりました。

当行は本邦でいち早く韓国ウォンの両替業務を行い、2002 年のサッカーワールドカップ開催を機とした韓国ウォンキャッシュの売買取扱、2008 年 10 月からは新商品としてウォン当座預金の取扱いを開始、2009 年 10 月から日本で最初のウォン定期預金 (Global Won 定期預金) の取扱いを開始致しました。お客様の身近な運用商品としてご利用いただいております。

ウォン当座預金およびウォン定期預金等は今後ともニーズが高まるものと予想されることから、当行は同預金取扱を通じて、ウォン関連商品を日本国内で推進・拡大して行きます。

コンプライアンス

2010 年 1 月、在日支店は金融庁より法令遵守等ならびに内部管理態勢等の不備により、行政処分を受けました。この処分を真摯に受止め、在日支店の経営管理（ガバナンス）態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等の業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んでまいりました。その結果、2012 年 7 月には業務改善命令は解除され、当行はその間差し控えてきました営業の強化やお客様へのサポート強化を開始すると同時にコンプライアンスの一層の強化実施を行なっております。

リスク管理

「金融庁金融検査マニュアル」等に沿った策定した在日支店総合リスク管理指針に基づき、各種リスクに対して、各支店リスク管理委員会での具体的な審議と在日支店共通のリスク等に対しては「在日支店合同リスク管理委員会」を開催して、従来よりさらに積極的なリスク管理を実施してします。

不良債権問題

在日支店の不良債権については過去数年間にわたる集中処分により、ほぼその処理も終了致しました。全体的に資産健全化を実現すると同時にリスク管理強化により不良債権発生を抑制させて行く計画です。

3)-1 在日支店貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)

科目	平成 25 年 3 月末	平成 24 年 3 月末	増減
現金預け金	10,442	16,107	-5,665
現金	330	376	-46
預け金	10,112	15,731	-5,619
コール・ローン	0	0	0
買入手形	0	0	0
買入金銭債権	0	0	0
有価証券	0	406	-406
国債	0	0	0
社債	0	0	0
株式	0	0	0
其他有価証券	0	406	-406
貸出金	53,582	56,160	-2,578
割引手形	627	451	176
貸付金	52,953	55,707	-2,754
外国為替	6,337	5,589	748
其他資産	714	2,228	-1,514
未決済為替貸	0	0	0
前払い費用	23	24	-1
未収収益	380	395	-15
未決済外国為替貸	0	0	0
其他資産	309	1,807	-1,498
有形固定資産	443	276	167
建物	46	48	-2
土地	132	132	0
建設仮払金	0	0	0
其他有形固定資産	263	94	169
無形固定資産	228	83	145
ソフトウェア	17	17	0
のれん	0	0	0
其他の無形固定資産	211	66	145
繰延税金資産	0	0	0
支払承諾見返り	2,083	2,341	-258
貸倒引当金	-1,439	-1,490	51
本支店勘定	33,601	40,125	-6,524
本店	33,600	39,881	-6,281
在日支店	0	0	0
在外支店	1	243	-242
資産の部計	105,994	121,829	-15,835

3)-2 在日支店貸借対照表(負債の部)

(単位:百万円)

科目	平成 25 年 3 月末	平成 24 年 3 月末	増減
預金	59,430	62,708	-3,278
当座預金	4,268	4,243	25
普通預金	7,134	6,099	1,035
貯蓄預金	0	0	0
通知預金	806	0	806
定期預金	47,147	52,334	-5,187
定期積み金	0	0	0
その他の預金	72	30	42
譲渡性預金	3,000	0	3,000
コール・マナー	600	1,000	-400
売渡手形	0	0	0
コマーシャル・ペーパー	0	0	0
借入金	14,613	18,486	-3,873
再割引手形	0	0	0
借入金	14,613	18,486	-3,873
外国為替	1,342	5,150	-3,808
その他負債	896	2,252	-1,356
未決済為替借	0	0	0
未払法人税等	12	0	12
未払い費用	622	544	78
前受収益	63	56	7
給付補填金	0	0	0
未決済外国為替借	0	0	0
その他資産	198	1,651	-1,453
賞与引当金	4	0	4
退職給与引当金	224	209	15
その他引当金	28	14	14
繰延税金負債	0	0	0
支払承諾	2,083	2,341	-258
本支店勘定	21,586	26,725	-5,139
本店	17,555	23,441	-5,886
在日支店	321	3	318
在外支店	3,709	3,280	429
負債の部計	103,812	118,888	-15,076
利益準備金	2,011	2,011	0
繰越利益剰余金	171	934	-763
その他有価証券評価差額金	0	-4	4
資本の部計	2,182	2,941	-759
負債及び資本の部合計	105,994	121,829	-15,835

3-3) 在日支店損益計算書

(単位: 百万円)

科目	平成 25 年 3 月末	平成 24 年 3 月末	増減
経常収益	2,891	4,956	-2,065
資産運用収益	2,165	2,405	-240
貸出金利息	1,396	1,509	-113
有価証券利息配当金	0	23	-23
コールローン利息	0	0	0
買入手形利息	0	0	0
預け金利息	151	115	36
金利スワップ受入利息	0	17	-17
外国為替受入利息	93	124	-31
本支店為替受入利息	522	294	228
その他の受入利息	0	319	-319
役務取引等収益	407	497	-90
外国為替受入手数料	93	393	-300
内国為替受入手数料	19	15	4
その他の役務収益	295	88	207
その他業務収益	262	330	-68
外国為替売買益	252	330	-78
商品有価証券売買益	0	0	0
国債等債券売却益	0	0	0
国債等債券償還益	0	0	0
その他業務収益	9	0	9
その他経常収益	57	1,722	-1,665
貸倒引当金戻入益	0	0	0
償却債券取立益	51	195	-144
株式等売却益	0	0	0
金銭の信託運用益	0	0	0
その他の経常収益	5	1,526	-1,521
経常費用	2,526	2,390	136
資金調達費用	985	1,110	-125
預金利息	671	693	-22
譲渡性預金利息	2	0	2
コールマネー利息	1	36	-35
コマーシャル・ペーパー利息	0	0	0
売渡手形利息	0	0	0
借入金利息	225	259	-34
金利スワップ支払利息	0	19	-19
外国為替支払利息	0	0	0
本支店為替支払利息	83	73	10
その他の支払利息	0	28	-28
役務取引等費用	63	69	-6
外国為替支払手数料	21	18	3
内国為替支払手数料	18	20	-2
その他の役務費用	23	31	-8
その他業務費用	9	0	9

外国為替売買損	0	0	0
商品有価証券売買損	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0
国債等債券償還損	0	0	0
国債等債券償却	0	0	0
その他の業務費用	9	0	9
一般貸倒引当金	0	0	0
営業経費	968	939	29
その他経常費用	498	271	227
貸倒引当金繰入額	478	260	218
貸出金償却	0	0	0
株式等売却損	0	0	0
株式等償却	0	0	0
金銭の信託運用損	0	0	0
その他の経常費用	20	10	10
経常利益(△は損失)	365	2,565	-2,200
特別利益	5	4	1
固定資産処分益	0	0	0
貸倒引当金戻入益	0	0	0
償却債券取立益	0	0	0
金融先物取引責任準備金取崩額	0	0	0
証券取引責任準備金取崩額	0	0	0
その他の特別利益	5	4	1
特別損失	2	3	-1
固定資産処分損	1	0	1
金融先物取引責任準備金繰入額	0	0	0
証券取引責任準備金繰入額	0	0	0
その他の特別損失	0	3	-3
税引前当期利益(△は損失)	369	2,567	-2,198
法人税、住民税及び事業税	62	165	-103
法人税等調整額	0	0	0
当期利益(△は損失)	307	2,401	-2,094
前期繰越利益金(△は損失金)	934	262	672
積立金取崩額	0	0	0
中間引当金	0	0	0
利益準備金積立額	0	0	0
本店への送金(△は本店からの補てん金)	1,069	1,730	-661
繰越利益剰余金	0	0	0
当期末未処分利益(△は損失)	171	934	-763

3. 外国銀行（本店）に関わる事項

1) 当行本店の経営方針

尊敬するお客様および株主の皆様に

私共、外換銀行の成長と発展のためにいつも惜しまない激励と声援をお送りくださり、お客様および株主の皆様に心より御礼申し上げます。

今年は蛇年でございます。蛇は脱皮を通じて、成長し、若くなるという点で、過去には、長寿と不朽、そして、今日では、革新を意味するといわれています。このような意味で、新年は外換銀行がもう一度新しく跳躍し、革新する一年になると確信しております。このような時期に外換銀行の銀行長に就任することができたことを、この上なく光榮に感じております。

去る 2012 年一年は国内、海外で本当に困難な一年でした。米国の景気鈍化とヨーロッパの財政危機による景気低迷等、先進国経済の不振が続く中で、中国をはじめとする新興国経済も影響を受け、景気低迷から抜け出すことができない状況が続いております。グローバル経済全体が鈍化する様相を見せており、韓国内景気の不振につながり、再生を志す外換銀行により一層大きい負担となりました。

しかし、このような厳しい国内外経済環境の中で、外換銀行の役職員の皆が、「新しい外換銀行に生まれ変わるんだ」という姿勢で献身的に努力した結果、一部、経営実績が期待に答える事ができませんでしたが、未来成長のための収益基盤を構築することができたことをお客様および株主の皆様にご報告することができたことは幸甚に感じております。

2012 年度、当行の連結当期純利益は 6,589 億ウォンを達成しました。2011 年対比当期純利益が大きく減少しましたが、その主な理由は、2011 年度、現代建設株式売却に伴う税引き前 1 兆ウォン以上の大規模特別利益が発生し、これによる基底効果で、有価証券売買利益が 2011 年対比 9 千億ウォン以上減少しました。昨年度、二度に亘る韓国銀行の基準金利引下げで銀行界全般にわたり、純利子マージンが減少しました。クレジットカードに対する政府規制が強化された結果、クレジットカード手数料利益も減少しました、退職給与引当金転入、金融当局の貸倒引当金積立て基準強化等により、費用部門で販売および一般管理費と引当金転入額が増加したためです。



Yong-ro Yun
President & CEO



当期純利益の減少で自己資本純利益率(ROE)は 2011 年 18.6%から 2012 年 7.4%に下落し、総資産利益率(ROA)も 2011 年 1.6%から 2012 年 0.6%に下落しました。一方、当行の 2012 年 BIS 自己資本比率は 13.6%、基本自己資本比率(Tier 1 capital)は 11.1%で堅調な資本適正性を維持しています。

当行の資産健全性は、2012 年度末現在、固定以下与信比率(NPL ratio)が 1.19%で、2011 年 1.18%対比 0.01%p 小幅下落しました。積立て比率である固定以下与信力パレッジ比率は 140.9%で 2011 年度 145.1%に続き安定的水準で維持しております。

一方、2012 年度は持続可能な成長のための収益基盤拡大努力が一定部分成果を見ることができました。

まず、昨年 3 月から始めた「KEB「再出発」お客様感謝キャンペーン」を基に顧客基盤回復に努めた結果、約 40 万人の顧客が増える成果を上げることができました。その間、短期成果主義で弱まった営業基盤を回復するために努力した結果、困難な経済環境の中でも韓国ウォン貸出金が前年対比約 3.9 兆ウォン増加し、総与信も前年対比 3.2 兆ウォン増加して 76.3 兆ウォンに増加する等、長期成長のための足場を固めました。

また、昨年 6 月に発売した 2X カードは年末までに 69 万枚を発行しました。チャンネル数を勘案すれば、「2012 年度最高のヒット商品」として、カード発行会社としての外換銀行の底力を市場に示すことができました。

外換銀行は外国為替と貿易金融部門での市場支配力を継続して維持しております。競争銀行の攻撃的攻勢にもかかわらず、外換銀行の 2012 年度市場占有率は外国為替部門 48%、輸出部門 36%、輸入部門 30%を記録しました。このような優れた実績を基に、外換銀行は昨年に Global Finance 紙から 11 年連続「韓国優秀外国為替銀行賞」を受賞しました。また、「外換銀行は資産、収益性、戦略、顧客サービス、価格競争力、そして革新的な商品開発等で最高評点を受け、韓国内外国為替業務と貿易金融業務分野でも市場の先導的位置を占めている」という選定理由で、Global Finance 紙から「韓国内最優秀銀行賞」も受賞しました。

今年、国内経済は昨年以上に厳しい状況になると予想されます。グローバル経済の不確実性が持続し、国内経済も家計負債問題、不動産不況、高齢化等の構造的要因で低成長、低金利状況が長期化する憂慮が懸念されており、これは国内金融業界が長期的な低成長、低収益構造に陥っていることを意味します。

このように国内経済の低成長基調に入ること、家計と企業の信用危険が拡大し、銀行のリスク管理の重要性は、益々、顕著になると予想されます。また、金融の公共性と社会的責任に対する要求もより一層高まり、金融の消費者保護のための新しい金融規制および規範の強化も予想されます。

結局、このような経営環境の変化の中で、生き残るために、銀行産業も新しいパラダイムの変化が必要であり、過去指向的思考や過去の慣行を踏襲する方式では、これ以上持続可能な成長を保証することはできないと考えます。

従いまして、私と外換銀行全役職員は、今年の厳しい経営環境を乗り越え、既存秩序を変えることができる二度と来ないこの機会を逸することなく、前向きに取り組んで生きたいと考えております。また、外換銀行が「韓国最高のグローバル銀行」として飛躍することができるように、現実に安住することなく、常に最善を尽くすように努力いたします。

このために私どもの銀行経営陣は次のようないくつかの事項を重点的に推進しようと思います。

最初に、外換銀行の中長期成長基盤構築を持続的に推進します。

今年は優良資産を中心に資産増大を積極的に推進するようにいたします。特に、中小企業の新規顧客発掘と同伴成長を通じて、中小企業ポートフォリオ比重を拡大し、昨年に続き安定した個人顧客への貸出拡大を通じて、顧客基盤を強化し、また、資産の質を向上させて、新しい収益源を発掘する等の成長のための足場をより一層確実にいたします。加えて、低費用の預金増大等を通じて、収益性と資金効率性を向上し、投資効率性分析に基づいた費用管理強化等、経営内容の充実化に注力いたします。

二番目に、外換銀行の営業力の強化により一層邁進します。

外換銀行の核心的な営業力の強化のために、外国為替関連インフラと人材に対する投資を持続して、これを通じて、サービス差別化および外国為替市場の支配力を強固にし、海外部門では、昨年の中東地域進出拡大に続き、今年もグローバル営業基盤拡大、海外営業店および非対面チャネルを活用した営業ネットワークの拡大を推進いたします。

一方、中小企業のライフサイクル別マーケティング強化と戦略商品およびグローバル商品を中心にした差別化された商品開発を行い、企業顧客に対する営業力量を強化いたします。また、個人顧客に対する営業強化プログラムも構築し、e-チャンネルに連結し、複合的金融商品開発、モバイル、カード決済環境の構築を通じて、顧客の金融消費形態を先導できる外換銀行になれるように努力いたします。



三番目、リスク管理の強化を通じて経営環境の不確実性に備えるようにします。

国内外経営環境の不確実性に対する先制的危険管理とバーゼル3自己資本規制に対する事前対応等、先駆けしたリスク管理体制を強化し、最近の金融規制および消費者保護強化傾向に歩調をそろえて、実効性ある内部統制管理と顧客情報保護体制を充実させ、外換銀行の海外ネットワーク拡大戦略を効率的に支援するために、海外リスク管理支援体制構築を推進するようにいたします。

四番目、組織力強化を通じて、持続可能な成長力を構築します。

核心分野のための専門担当者の選抜と育成、金融専門家養成など体系的人材管理により、外換銀行の人的力量を向上させ、業務プロセス革新、チャンネル改編と非対面チャンネル拡大等、対顧客チャンネルの多様化を通じて、営業インフラ拡充を推進いたします。また、顧客と営業中心の経営体制を強化し、組織の雰囲気活性化を通じて、職員の業務満足度を高めて変化と危機に強い組織を構築いたします。

五番目、全銀行的なシナジー営業強化と共に、ハナ金融グループとWin-Win的シナジー向上のために努力します。

外換銀行は、昨年、営業力を最大化するために、本部組織と事業グループに対する大々的な組織改編を断行しました。今年は事業グループと本部間の協業(Collaboration)活性化を誘導することができるように内部制度面を整備し、全銀行的次元で効率性増大を推進いたします。また、各事業部門と金融グループ子会社間の連携営業と協業活性化を通じて、ハナ金融グループ全体のシナジー向上のために努力いたします。

最後に、私を含む外換銀行役職員は外換銀行が「韓国最高のグローバル銀行」になるために、また、「顧客が最も信頼する最高の金融パートナー」になるために渾身の努力を尽くすことをもう一度お約束します。

お客様および株主の皆様も、外換銀行が、今年一年間、一段階さらに飛躍し、成長して、「韓国最高のグローバル銀行」になれますように、変わらないご厚情と惜しまないご声援をお送りくださり、2013年が皆様のご家庭にご幸福とご健康が充満するように心より祈願申し上げます。

2013年3月

韓国外換銀行 銀行長
尹庸老

2). 当行のあゆみ

1967. 1. 30	韓国外換銀行創立(資本金 100 億ウォン)
1972. 11. 28	韓国内最初の On-Line 普通預金取扱開始
1977. 3. 30	資本金 1,000 億ウォンに増資
1978. 4. 10	韓国内最初の信用カード(VISA Card)業務取扱開始
1981. 1. 30	本店新築移転
1985. 2. 19	86 アジアンゲームおよび 88 ソウル・オリンピック公認銀行指定
1985. 3. 25	信託業務取扱開始
1985. 7. 25	資本金 4,050 億ウォンに増資
1989. 12. 30	韓国外換銀行法廃止、特殊銀行から民間銀行に転換
1990. 7. 9	総合電算システム稼働
1990. 9. 13	体育宝くじ発売開始
1991. 12. 5	資本金 6,050 億ウォンに増資(一般公募 2,000 億ウォン)
1993. 1. 1	資産再評価実施
1994. 4. 4	株式上場
1994. 8. 30	97 ユニバーシアード大会公認銀行に指定
1995. 8. 25	資本金 8,250 億ウォンに増資(一般公募 2,200 億ウォン)
1996. 3. 14	VISA 海外デビット・カード清算銀行に指定
1996. 7. 8	KEDO 資金管理主取引銀行に指定
1997. 12. 11	韓国内最初の北朝鮮クムホ出張所開店
1998. 7. 29	資本金 11,750 億ウォンに増資(コメルツ銀行に第 3 者割当 3,500 億ウォン)
1999. 1. 1	韓外綜合金融(株)合併
1999. 4. 22	資本金 24,817 億ウォンに増資(最大株主韓国銀行からコメルツ銀行に変更)
2000. 12. 20	資本金 12,409 億ウォンを 1:2 に減資
2000. 12. 22	資本金 18,509 億ウォンに増資
2001. 3	韓国内最大外国為替専門ウェブサイト開設
2001. 6	2010 年 Yeosu 世界博覧会誘致委員会後援銀行に選定
2003. 9. 3	バンカシュランス業務開始
2003. 10. 30	資本金 31,946 億ウォンに増資(LSF KEB Holding, SCA に第 3 者割当増資 13,437 億ウォン) 最大株主コメルツ銀行から LDF-KEB Holding, SCA に変更
2004. 2. 28	外換信用カード(株)を吸収合併
2004. 9	Asiamoney 誌、当行を韓国内最優秀外国為替銀行に選定
2004. 12	CLS 為替同時決済システム開始
2004. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定(3 年連続)
2005. 6. 7	S & P、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 6. 17	Fitch、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 12. 15	Fitch、長期信用等級 BBB+に引上げ
2005. 12	Global Finance 誌、当行を韓国内最優秀貿易金融銀行に選定(6 年連続)
2006. 3. 29	韓国信用評価、先順位無保証債券等級 AAA に格上げ
2006. 6	Asia Risk 誌、当行をアジア 10 大銀行に選定
2006. 7	ユーロマネー誌、2006 年韓国最優秀銀行に選定
2006. 8	Moody's、短期債信用等級 P-2 に格上げ
2006. 8	Asiamoney 誌、2006 年韓国最優秀 Cash Management Service 銀行に選定(2 年連続)
2006. 10	ロシア・ルーブル貨および南アフリカ・ランド貨に対する外国為替業務開始
2006. 11	韓国系銀行最初の中国内インターネットバンキング・サービス実施
2006. 12	金融監督院、「ヘッジマスター・サービス」2006 年金融商品最優秀賞受賞

2007. 2. 22	S & P、長期信用等級 BBB+に引上げ
2007. 3. 23	韓国信用情報、企業信用等級 AAA に格上げ
2007. 5. 4	Moody's、長期債信用等級 A2 に 3 段階格上げ
2007. 8	Asiamoney 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (2 年連続)
2007. 10. 23	Global Finance 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (6 年連続)
2007. 10	産業支援部主管「2007 年度サービス品質核心産業支援部長官賞」受賞
2007. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定
2008. 2. 29	Fitch、長期信用等級 A-に格上げ
2008. 3	市中銀行中最初の外国語音声案内対応 ATM および CD 設置
2008. 4	ロシア・モスクワ事務所開設
2008. 5	CD/ATM 10 カ国語画面支援サービス実施：国語、英語、日本語、中国語、ベトナム語、モンゴル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語およびスリランカ語
2008. 6	外国人居住者専用 KEB Global 預金実施
2008. 6	カナダ韓国外換銀行バンクーバー・ダウンタウン支店開設
2008. 7	新 CI (Corporate Identity) 宣布
2008. 7	中国・天津支店内 Pin Hai 出張所、チリ・サンディエゴ事務所開設
2008. 8	インド・ニューデリー現地事務所開設
2008. 9	外換銀行顧客センター「KS 認証」獲得
2008. 10	北京ウダコウ出張所開設
2008. 11	ロシア VTB24 銀行と戦略的業務提携
2008. 11	チェコ/オストラバ事務所開設
2009. 1	ATM 言語画面支援サービス実施 (総 17 カ国)
2009. 3	インドネシア外換銀行現地法人グラパガーデン出張所開設
2009. 3	ソウル出入国管理事務所と「グローバル人材および投資外国人誘致支援」のための業務協定締結
2009. 4	「KEB 申聞鼓」制度を海外店舗網まで拡大施行
2009. 6	外貨譲渡性預金証書 (外貨 CD) 販売
2009. 7	香港 IB 現地法人” KEB Asia Finance Ltd.” 設立
2009. 8	外国人英語専用通帳” Expat Savings Account” サービス開始
2009. 10	大宇証券と CMA 信用カード発行業務提携協約締結
2009. 11	トルコ・リラの外国為替業務取扱開始
2009. 11	現代証券と為替取引自動化サービス業務提携協約締結
2009. 12	在外韓国人に対する国内投資サービス実施
2010. 4	モバイルバンキング開始
2010. 4	CLS 委員会 委員に選定
2010. 5	韓国社会貢献大賞「国際社会部門」受賞
2010. 8	カザフスタン通貨 (テンゲ貨) 両替開始
2010. 8	自動化機器 (ATM) 利用外貨振替サービス開始
2010. 9	中国元建て送金開始
2010. 9	チェコ・カタル通貨両替開始
2011. 3	日本「東日本大震災」に支援金 5 億ウォン支援
2011. 7	外国為替業務専門コンサルティング業務開始
2011. 11	ATM DCC (ATM での外貨自動両替) サービス開始
2012. 1	企業オーダーメイド型「In-House Banking Plus」出資
2012. 2	ハナ金融グループに編入 (第 24 代銀行長 尹庸老 就任)
2012. 3	韓国国内銀行最初の 11 ケ国語をカバーする「KEB Global banking Service」開始
2012. 4	外国人顧客のための総合相談サービス「オメガ・サービス」開始

2012. 5	韓国内銀行最初の香港支店に「Global Trade Finance and Remittance Center」設立
2012. 5	銀行最初の中小・中堅海運会社の船舶購入資金支援のための「KEB on Lending」取扱開始
2012. 6	金融界最初の「リアルタイム外貨資金管理サービス」開始
2012. 7	大韓赤十字社と「社会貢献協約」締結
2012. 7	モンゴル通貨 Tugrik 貨両替開始
2012. 9	韓国内銀最初のスキャンイメージを利用した「偽造紙幣検索システム」構築
2012. 11	「輸出企業買取支援特別ファンド」支援実績 5 億ドル突破
2012. 11	「スマートフォン顧客センター」開設
2012. 12	韓国内銀行最初の「アブダビ支店」開店
2012. 12	韓国内銀行最初のドイツ現地法人に「貿易金融センター」設立

3). 全社連結貸借対照表及び損益計算書

3-1) 本店連結貸借対照表 (2012 年 12 月 31 日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2012 年 12 月末 (韓国ウォン)	2011 年 12 月末 (韓国ウォン)
現金・預置金	8,093,842	8,397,528
短期売買証券	1,478,079	1,483,993
売渡可能債券	7,026,521	6,120,693
満期保有債券	5,126,353	5,462,329
持分法適用投資株式	-	669
貸出債権	70,353,991	67,944,287
有形資産	1,222,961	1,207,380
その他資産	8,211,253	7,527,604
総合金融勘定資産	2,488,216	2,352,503
資産総計	104,001,216	100,496,986
預受負債	66,781,589	64,429,609
借入負債	13,099,131	14,790,239
借入金	6,925,705	9,330,215
社債	6,173,426	5,460,024
その他負債	14,509,876	11,887,359
総合金融勘定負債	528,725	753,244
負債総計	94,919,321	91,860,451
資本金	3,224,534	3,224,534
資本剰余金	940	940
資本調整	40	0
その他包括損益累計額	160,230	355,284
利益剰余金	5,696,151	5,055,777
資本総計	9,081,895	8,636,535
負債・資本総計	104,001,216	100,496,986

3-2) 本店連結損益計算書 (2012 年 12 月 31 日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2012 年 12 月末 (韓国ウォン)	2011 年 12 月末 (韓国ウォン)
営業収益	10,129,318	11,416,328
利子収益	4,391,120	4,376,883
有価証券評価および処分利益	3,817,630	5,011,139
金融派生商品利益	7,881	28,423
手数料収益	521,295	513,470
その他営業収益	1,391,392	1,486,413
営業費用	9,226,209	9,275,483
利子費用	1,925,143	1,826,994
有価証券評価および処分損失	3,579,605	3,763,371
金融派生商品損失	12,787	27,601
手数料費用	342,665	265,972
販売費および業務管理費	1,572,964	1,490,559
その他営業費用	1,793,045	1,900,986
営業利益	903,109	2,140,845
営業外収益	66,529	68,440



営業外費用	49,667		50,187
法人税引き前純利益	919,971		2,159,098
法人税	261,119		504,433
当期純利益	658,852		1,654,665